

攻めのIT経営アンケート調査2018 質問項目

I 経営方針・経営計画における企業価値向上のためのIT活用	
<b>1 経営方針および経営計画における企業価値向上のためのIT活用</b>	
1-1	経営方針および経営計画（中期経営計画・統合報告書等）の中に企業価値向上のためのIT活用、特に最新のデジタル技術の活用に関する方針等を含めていますか。
1	最新のデジタル技術の活用に関する方針等が含まれている
2	IT活用に関する方針は含まれているが、最新のデジタル技術の活用に関しては触れていない
3	含まれていない
1-2	その内容が記載された経営方針または経営計画の資料名・URL等をご記入ください。 記述例：株主通信●ページに記載
1-3	その内容をIR資料等で公開していますか
1	その内容をIR資料等ですでに社外に公開している
2	社外への公開を準備中である
3	公開する予定はない
<b>2 企業価値向上のためのIT活用計画</b>	
2-1	企業価値向上のためのIT活用計画、特に最新のデジタル技術の活用に関する計画等（中期IT戦略等）があり、スケジュール等を含め具体化していますか。
1	最新のデジタル技術の活用を含む企業価値向上のためのIT活用計画等があり、スケジュール等を含めて具体化している
2	企業価値向上のためのIT活用計画等があり、スケジュール等を含め具体化しているが、最新のデジタル技術の活用に関しては触れていない。
3	企業価値向上のためのIT活用計画がない
2-2	その計画の具体的な名称をご記入ください。 記述例：中期IT投資計画
2-3	その内容をIR資料等で公開していますか
1	その内容をIR資料等ですでに社外に公開している
2	報告書等で社内でも周知されており、社外への公開も準備中である
3	社内では周知されているが、公開の予定はない
<b>3 経営トップのメッセージ</b>	
3-1	経営トップのメッセージとして、企業価値向上のためのIT活用、特に最新のデジタル技術の活用等について発信していますか。
1	最新のデジタル技術の活用を含む企業価値向上のためのIT活用について、社内および社外に発信している
2	企業価値向上のためのIT活用について社内および社外に発信しているが、最新のデジタル技術の活用に関しては触れていない
3	社内でのみ発信している
4	発信していない
3-2	そのメッセージが記載された資料名・メディア名称・URL等をご記入ください。 記述例：株主通信●ページ、●●新聞2016年1月20日号（10面）
<b>4 企業価値向上のためのIT活用についての、経営トップの指示・関与</b>	
4-1	企業価値向上のためのIT活用に関して、経営トップはどの程度関与していますか。
1	経営トップが企業価値向上のためのIT活用に関して具体的に指示をするなど、積極的に関与している
2	経営トップが企業価値向上のためのIT活用に関してある程度関与している
3	経営トップの企業価値向上のためのIT活用への関与は少ない
4-2	指示や関与の状況を簡単にご説明ください。 記述例：ステアリング会議にて●●プロジェクトの××に対して具体的に指示
<b>5 「企業価値向上のためのIT活用」ミッションの責任者の任命</b>	
5-1	最新のデジタル技術の活用を含む「企業価値向上のためのIT活用」ミッションに関する責任者が任命されていますか。
1	経営層（役員会等のメンバー）が責任者として任命されている
2	経営層（役員会等のメンバー）ではない部門長（事業部またはIT担当部門）が責任者となっている
3	任命されていない
5-2	該当される方の役職をご記入ください。 記述例：CDO（チーフデジタルオフィサー）

6	<b>「企業価値向上のためのIT活用」ミッションの責任者のケイバビリティ</b>	
6-1	Q5でお答えいただいた「企業価値向上のためのIT活用」ミッションの責任者は、ビジネスおよびITの経験を持つなど、その動向に精通していますか。	
	1	「企業価値向上のためのIT活用」に関する責任者が、ビジネスおよび最新の技術動向や活用動向に精通している
	2	「企業価値向上のためのIT活用」に関する責任者がビジネスには精通しており、最新の技術動向や活用動向もある程度理解している
	3	「企業価値向上のためのIT活用」に関する責任者がある程度ビジネスを理解しており、最新の技術動向や活用動向には精通している
	4	いずれも理解はしているが、精通しているとまでは言えない
6-2	どのような分野に精通されているか、簡単にご紹介ください。 記述例：ITを活用した新規事業立ち上げの経験を持ち、業界を超えたビジネス動向、最新のデジタル技術活用動向などに精通している	
7	<b>実質的なITの統括責任者（CIO等）①</b>	
7-1	実質的なITの統括責任者（CIO等）はどのようなお立場ですか。	
	1	役員がITの統括責任者を務めている
	2	役員ではない部門長がITの統括責任者となっている
	3	認識されていない、該当する人はいない
7-2	該当する方の役職をご記入ください。 記述例：常務執行役員 IT本部長	
8	<b>実質的なITの統括責任者（CIO等）②</b>	
8-1	実質的なITの統括責任者（CIO等）は専任ですか、兼任ですか。	
	1	IT統括の専任である
	2	IT統括以外に担当分野がある
8-2	実質的なITの統括責任者（CIO等）の職務分掌をご記入ください。 記述例：ITの統括および全社横断の業務改革担当	
9	<b>実質的なITの統括責任者（CIO等）③</b>	
9-1	実質的なITの統括責任者（CIO等）の責任範囲はどの範囲ですか。	
	1	エンタープライズIT（会計、経理・財務、人事等の社内ITシステム、および共通ITインフラ（メール等）に加えて、全てのビジネスIT（事業独自のIT）を含む
	2	エンタープライズITに加えて、一部のビジネスIT（事業独自のIT）を含む
	3	エンタープライズITのみ
	4	エンタープライズITのみだが、ビジネスITについては別の統括責任者が存在する
	5	その他：具体的にご記入ください（ ）
9-2	実質的なITの統括責任者（CIO等）に該当される方の責任範囲（部門名等）をご記入ください。 記述例：IT部門と販売系部門のビジネスIT	

II 企業価値向上のための戦略的IT活用	
<b>10 企業価値向上のためのIT予算の確保</b>	
10-1	IT予算（エンタープライズIT・ビジネスITすべて）のうち、企業価値向上のためのIT活用に予算の一定の金額または一定比率を確保するとともに、その予算を増やすための取組みを実施されていますか。
	1 一定予算枠を常に確保しており、増やすための取組みを実施している
	2 一定予算枠を常に確保している
	3 年度予算ごとに決定している
	4 特段確保していない
10-2 記述	Q10-1で1または2を選択された場合、企業価値向上のためのIT予算について記載されている資料名をご記入ください。 例：FY2017全社IT投資計画書／FY2016IT白書
<b>11 IT活用による「革新的な生産性向上」</b>	
11-1	ITを活用した、革新的な生産性向上を目指した、働き方改革・組織運営の変革、プロセスの変革等に関する取組みを実施していますか。
	1 本格的に実施しており効果が出ている
	2 本格的に実施しはじめたが、効果はまだわからない
	3 一部で実施している
	4 計画中（3年以内に実施予定）
	5 計画はない
11-2 記述	Q11-1で1～3を選択された場合、取組み（プロジェクト）のタイトルまたは概要について簡単に記入ください。 例：工場でのロボット活用による生産性向上プロジェクト
<b>12 IT活用による「既存ビジネスの拡充」</b>	
12-1	ITを活用した、既存ビジネスの拡充を目指した、顧客との関係強化、マーケティング等の変革、プロセス変革等による満足度向上等の取組みを実施していますか。
	1 本格的に実施しており効果が出ている
	2 本格的に実施しはじめたが、効果はまだわからない
	3 一部で実施している
	4 計画中（3年以内に実施予定）
	5 計画はない
12-2 記述	Q12-1で1～3を選択された場合、取組み（プロジェクト）のタイトルまたは概要について簡単に記入ください。 例：AIを活用したコールセンターにおける個別対応プロジェクト
<b>13 IT活用による「ビジネス革新」</b>	
13-1	ITを活用した、ビジネス変革（新規事業創造やビジネスモデルの変革）に関する取組みを実施していますか。
	1 本格的に実施しており効果が出ている
	2 本格的に実施しはじめたが、効果はまだわからない
	3 一部で実施している
	4 計画中（3年以内に実施予定）
	5 計画はない
13-2 記述	Q13-1で1～3を選択された場合、取組み（プロジェクト）のタイトルまたは概要について簡単に記入ください。 例：製品のサービスモデル化プロジェクト
<b>14 Q11～13で回答した取組みについて、IR資料等で公開していますか。</b>	
	1 Q11～13で回答した内容について、IR資料等ですでに社外に公開している
	2 一部の内容をIR資料等ですでに社外に公開している
	3 社外へは公開していないがIT関連の報告書等で社内周知されており、社外への公開も準備中である
	4 公開の予定はない
<b>15 企業価値向上のためのIT投資プロジェクト1</b>	
15-1	「革新的な生産性向上」「既存ビジネスの拡充」「ビジネス革新」等を目指した企業価値向上のためのIT投資プロジェクトの内容（これまで、および今後実施する取組みを含む）について、所定のフォーマット（別途ダウンロード）にご記入ください。 ※貴社にとってより重要性が高い取組み2つについてQ15・Q17それぞれにご記入ください。
<b>16 企業価値向上のためのIT投資プロジェクト1の責任者</b>	
16-1	Q15でご記入いただいたプロジェクトの責任者はどのようなお立場ですか。
	1 経営トップ
	2 経営層（役員会等のメンバー）
	3 経営層（役員会等のメンバー）以外の事業部門、IT担当部門トップ
	4 その他
16-2 記述	Q16-1でご回答いただいた責任者の方のお役職をご記入ください。 例：取締役副社長

17	<b>企業価値向上のためのIT投資プロジェクト2</b>	
17-1	「革新的な生産性向上」「既存ビジネスの拡充」「ビジネス革新」等を目指した企業価値向上のためのIT投資プロジェクトの内容（これまで、および今後実施する取組みを含む）について、所定のフォーマットにご記入ください。 ※貴社にとってより重要性が高い取組み2つについてQ15・Q17それぞれにご記入ください。	
18	<b>企業価値向上のためのIT投資プロジェクト2の責任者</b>	
18-1	Q17でご記入いただいたプロジェクトの責任者はどのようなお立場ですか。	
	1	経営トップ
	2	経営層（役員会等のメンバー）
	3	経営層（役員会等のメンバー）以外の事業部門、IT担当部門トップ
	4	その他
18-2 記述	Q18-1でご回答いただいた責任者の方のお役職をご記入ください。 例：常務執行役員	
19	<b>資本生産性（ROE/ROIC）やキャッシュフローの変化</b>	
19-1	企業価値向上のためのIT投資を実施した前後の、企業全体としてのROEやキャッシュフローはどのように変化していますか。 ※Q15・Q17で記入いただいた企業価値向上のためのIT投資プロジェクトとの関係を質問しているものではありません。	
	1	資本生産性（ROE/ROIC）およびキャッシュフローともに改善している
	2	資本生産性（ROE/ROIC）のみ改善している
	3	キャッシュフローのみ改善している
	4	資本生産性（ROE/ROIC）およびキャッシュフローいずれも改善していない
19-2 記述	Q19-1の裏付けとなるIR資料名をご記入ください。 例：株主通信（FY2015）	
20	<b>最新のデジタル技術の活用</b>	
20-1	最新のデジタル技術について、活用に着手していますか。	
	1	すでに活用中
	2	POC等トライアルに取組み中
	3	計画中（1年以内の実施を予定）
	4	検討中（基礎研究等を実施中）
	5	未着手
20-2 記述	Q20-1で1または2を選択された場合、活用されている技術をご記入ください。 例：コールセンターにおけるAI活用	
21	<b>最新のデジタル技術の活用を促すトライアル・リーンスタートアップ等の制度・仕組み</b>	
21-1	最新のデジタル技術の活用を促すための、トライアルやリーンスタートアップ等、活動を支援する制度、仕組みがありますか。	
	1	制度・仕組みがある
	2	明確な制度はないが、実施可能な社風、風土がある
	3	必用に応じ稟議を経て承認する
21-2 記述	Q21-1で11を選択された場合、制度の名称、仕組みの概要等をご記入ください。 例：POCのための予算枠を確保している。※POC：Proof Of Conceptの略。概念実証。新しいコンセプトを実証、デモンストレーションなどを行うための製品や設備、あるいは実現の可能性を示すための試行。	
22	<b>企業価値向上のための外部データ連携</b>	
22-1	既存ビジネスの拡充やビジネス革新等のため、他者とのデータ連携やデータ取引を実施していますか。	
	1	他者とのデータ連携やデータ取引を積極的に実施している、あるいはこれまでに実績がある
	2	他者とのデータ連携やデータ取引を具体的に計画している
	3	計画はない
22-2 記述	Q21-1で1を選択された場合、実施しているデータ連携・データ取引の概要をご記入ください。また、活用されているガイドライン等があればその名称をご記入ください。 例：概要：APIによるデータ提供/ガイドライン：データの利用権限に関する契約ガイドライン（経済産業省）、データに関する取引の推進を目的としたガイドライン（経済産業省）	
23	<b>エコシステム・企業間連携</b>	
23-1	企業価値向上のためのIT活用、特に「ビジネス変革」等を実現するため、エコシステム等、企業間連携を実施していますか。	
	1	実施している
	2	実施を具体的に計画している
	3	予定・計画がない
23-2 記述	Q23-1で1を選択された場合、実施内容の概要をご記入ください。 例：インターネットプラットフォーム企業とのエコシステムを構築し、自社のデータを活用した新サービスを展開	

Ⅲ 攻めのIT経営を推進するための体制および人材	
24	<b>IT戦略の立案・推進・評価を実施する会議体の設置、開催</b>
24-1	企業価値向上のためのIT戦略を、立案・推進・評価する会議体があり、それが定期的で開催されていますか。
	1 経営トップを含む関係役員レベルの会議体があり、定期的で開催している
	2 部門長レベルの会議体があり、定期的で開催している
	3 明示的には存在しない
24-2	Q24-1で1または2を選択された場合、会議体名および開催頻度をご記入ください。 記述 例：全社ITステアリング会議（原則四半期に1回）
25	<b>企業価値向上のためのIT活用の検討体制</b>
25-1	最新のデジタル技術等、ITを活用した企業価値向上のための取組みを検討する、事業関係者・IT関係者が一体となった専門組織がありますか。もしくは部門横断の検討体制（クロスファンクションチーム等）の整備を行っていますか。
	1 事業関係者・IT関係者が一体となった専門組織を設置、もしくは部門横断の推進体制の整備をしている
	2 事業部門が必要に応じて企画・推進しているが、全社的な連携やIT担当部門との連携は取れている
	3 事業部門が必要に応じて独自に企画・推進しており、全社的な連携やIT担当部門との連携は取れていない
	4 事業部門の要望によりIT担当部門が都度対応している
	5 明示的には存在しない
25-2	Q25-1で1を選択された場合、その組織名をご記入ください。 記述 例：●●tech検討チーム
25-3	(Q25-1で1を選択された場合はご回答ください) その内容をIR資料等で公開していますか
	1 その内容をIR資料等ですでに社外に公開している
	2 社外への公開を準備中である
	3 公開する予定はない
26	<b>企業価値向上のためのIT活用の検討体制におけるテーマ</b>
26-1	Q25でお答えいただいた組織で検討されているテーマを選択してください（複数選択可）
	1 革新的な生産性向上を目指した、働き方・組織運営の変革・プロセスの変革等に関する取組み
	2 ビジネス成長を目指した、顧客との関係強化・マーケティング等の変革、プロセス変革による満足度向上等の取組み
	3 ビジネス変革（新規事業創造やビジネスモデルの変革）
	4 その他：具体的に記入（ ）
26-2	テーマの概要をご記入ください（複数テーマの場合はあわせて複数ご記入ください）。 記述 例：モバイルワーク推進、サービスの高度化
27	<b>企業価値向上のためのIT活用の検討体制のミッション・人材</b>
27-1	Q25-1でお答えいただいた組織について、あてはまるものを1つ選択してください。
	1 組織のミッション・ゴールが明確になっているとともに、所属する人材に必要な能力・スキルが明確になっている
	2 組織のミッション・ゴールは明確だが、必要な能力・スキルを明確化できていない
	3 組織のミッション・ゴールが明確になっていない
27-2	Q27-1で1または2を選択された場合、組織のミッションや人材の概要をご記入ください。 記述 例：●●Techの自社への適用の検証／新たなデジタル技術の評価でき、ビジネスニーズと結びつけることができる人材
28	<b>企業価値向上のためのIT活用の検討体制のメンバー</b>
28-1	Q25-1でお答えいただいた組織のメンバーは専任ですか、兼任ですか？
	1 全てのメンバーが専任
	2 一部のメンバーは専任だが、ほとんどは兼任
	3 全てのメンバーが兼任
29	<b>最新のデジタル技術の評価や適用の検討体制</b>
29-1	最新のデジタル技術の動向を把握するとともに評価をし、その適用の可能性を検討する専門組織を設け、常時活動を行っていますか。
	1 最新のデジタル技術の評価や適用の検討を専門組織を設置し常時行っている
	2 常時ではないが技術によっては調査・評価を行っている
	3 必要となった際に都度調査・評価している
	4 情報収集はしているが、評価まではしていない
29-2	Q29-1で1を選択された場合、該当の組織の名称をご記入ください。 記述 例：IT企画部・技術グループおよびマーケティング部デジタルマーケティンググループ
29-3	(Q29-1で1を選択された場合はご回答ください) その内容をIR資料等で公開していますか
	1 その内容をIR資料等ですでに社外に公開している
	2 IT関連の報告書等で社内で周知されており、社外への公開も準備中である
	3 社内では周知されているが、公開の予定はない

<b>30</b>	<b>企業価値向上のためのIT活用を支える人材</b>
30-1	企業価値向上のためのIT活用を支える人材として、どのような人材が必要か明確になっており、確保のための取組みを実施していますか。（計画的な育成、中途採用、外部からの出向、事業部門・IT担当部門間の人事異動等）
	1 明確になっており、確保できている
	2 明確になっており、確保のために取り組んでいる
	3 明確になっていない
30-2	Q30-1で1または2を選択された場合、必要な人材の概要・確保のための取組み概要をご記入ください。 記述 例：最新のデジタル技術とビジネスニーズをつないで活用を推進できる人材。中途採用および事業部門からの人事異動を実施。
30-3	(Q30-1で1または2を選択された場合はご回答ください) その内容をIR資料等で公開していますか
	1 その内容をIR資料等ですでに社外に公開している
	2 IT関連の報告書等で社内で周知されており、社外への公開も準備中である
	3 社内では周知されているが、公開の予定はない
<b>31</b>	<b>企業価値向上のための IT 活用に取り組む人材を評価する仕組み</b>
31-1	「企業価値向上のための IT 活用」に取り組む人材を評価する仕組みがありますか
	1 「企業価値向上のための IT 活用」を推進する人材を評価する、全社的な仕組みがある
	2 特定の部門において、評価する仕組みがある（例：IT部門独自の仕組み等）
	3 その他
	4 そのための仕組みはない
31-2	Q31-1で1または2を選択された場合、仕組みの名称や概要をご記入ください。 記述 名称例：IT提案アワード 概要例：提案回数の評価、実現につながった場合のインセンティブ
<b>32</b>	<b>IT 活用を推進するための提案制度・プロセス</b>
32-1	ITを活用して製品や事業を変革し、企業価値を高めるための提案制度やプロセス等がありますか。
	1 IT活用に関する独立した提案制度やそれを評価・採用するプロセスがある
	2 社内全体の提案評価制度の中で運用されている
	3 その他
	4 制度・プロセスはない
32-2	Q32-1で1または2を選択された場合、制度やプロセスの名称や概要をご記入ください。 記述 例：新サービス提案制度
<b>33</b>	<b>企業価値向上のためのIT活用についての普及啓発・育成の取組み</b>
33-1	全社員が、企業価値向上のための IT 活用を自ら考え、能動的に活動できるよう、勉強会など普及啓発・育成の取組みを実施していますか。
	1 全社員を対象に実施している
	2 一部の社員を対象に実施している
	3 実施していない
33-2	Q32-1で1または2を選択された場合、取組みの概要をご記入ください。 記述 例：「新技術活用アカデミー」を全社員対象に実施。
<b>34</b>	<b>事業部門とIT担当者との情報交換・交流</b>
34-1	事業部門とIT担当者として、企業価値向上のためのIT活用に向け、最新のデジタル技術等のIT動向や、顧客ニーズについて定期的な情報交換・交流の機会がありますか。
	1 定期的な情報交換・交流の機会・場があり、連動した取組みができている
	2 定期的な場はないが、常日頃から頻繁に情報交換・交流しており、連動した取組みができている
	3 情報交換・交流する機会はほとんどない
34-2	Q34-1で1を選択された場合、交流の機会・場の名称やテーマ内容、頻度をご記入ください。 記述 例：最新IT動向ニーズ情報交換会、2か月に1回開催/顧客ニーズ発掘のためのセッション実施、ここ半年で4回ほど実施
<b>35</b>	<b>外部リソースの活用</b>
35-1	企業価値向上のための IT 活用推進において、オープンイノベーションの推進、社外アドバイザー・パートナーの活用など、外部リソースを活用できていますか。
	1 活用している
	2 活用を具体的に計画している
	3 活用していない
35-2	Q35-1で1を選択された場合、実施・検討内容の概要をご記入ください。 記述 例：プライベートハッカソンの開催
<b>36</b>	<b>共創の場</b>
36-1	新たな取組み・価値を創出するために、部門および組織横断（外部の組織も含む）の共創を促進する場がありますか。
	1 ある
	2 実施を具体的に計画している
	3 予定・計画がない
36-2	Q36-1で1を選択された場合、名称または概要をご記入ください。 記述 例：●●イノベーションセンターの創設

IV 攻めのIT経営を支える基盤的取組み	
37	<b>経営トップの情報セキュリティリスクについての認識</b>
37-1	経営者が情報セキュリティリスクを経営リスクの1つとして認識し、CISO等の責任者を任命するなど管理体制を構築するとともに、情報セキュリティ対策のためのリソース（予算、人材）を確保していますか。
1	経営者が情報セキュリティリスクを経営リスクの1つとして認識し、CISO等の責任者を任命するなど管理体制を構築するとともに情報セキュリティ対策のためのリソース（予算、人材）を確保している
2	情報セキュリティリスクを経営リスクの1つとして認識し、CISO等の責任者を任命するなど管理体制を構築しているが、対策のためのリソース確保はこれからの課題である
3	管理体制の構築および対策のための資源確保はこれからの課題である
37-2	Q37-1で1または2を選択された場合、責任者の役職をご記入ください。 記述 例 責任者：経営企画担当常務／セキュリティ対策組織名称：リスクマネジメント委員会
38	<b>情報セキュリティリスクの把握と対策</b>
38-1	情報セキュリティリスクとして守るべき情報を特定し、リスクに対応するための計画（システムの・人的）を策定するとともに、防御のための仕組み・体制を構築していますか。
1	情報セキュリティリスクを特定し、リスク対策計画を策定するとともに、防御のための仕組み・体制を構築している
2	情報セキュリティリスクは特定しているが、仕組み・防御のための体制構築はこれからの課題である
3	情報セキュリティリスクの明確化はこれからの課題である
38-2	Q38-1で1または2を選択された場合、リスク対策やその対応に関する規定やドキュメントをご記入ください。 記述 例：リスク分析表
39	<b>情報セキュリティポリシーの策定と体制の構築、PDCAサイクルの構築</b>
39-1	情報セキュリティポリシーを定めるとともに、日常の管理および事故時の即応のための体制（CSIRT等）を構築し、PDCAサイクルを定義して改善に向けて取り組んでいますか。
1	情報セキュリティポリシー等を定め、日常の管理・事故時の即応体制（CSIRT等）を構築し、対策を講じている。またPDCAサイクルを定義して、モニタリングや定期的な見直しを実施するなど、改善に向けて取り組んでいる
2	情報セキュリティポリシー等を定め、日常の管理・事故時の即応体制（CSIRT等）を構築し、対策を講じているが、PDCAサイクルを定義した、改善への取組みはこれからの課題である
3	情報セキュリティポリシー等を定めていない
39-2	Q39-1で1または2を選択された場合、即応体制の組織名をご記入ください。また、見直し結果の報告書類名をご記入ください。 記述 例：●SIRT、リスクマネジメントレポート2017
40	<b>情報セキュリティへの取り組みに関する開示</b>
40-1	情報セキュリティを経営リスクの一つと捉え、その取組みを前提としたリスクの性質・度合いに応じて、情報セキュリティ報告書、CSR報告書、サステナビリティレポートや有価証券報告書等への記載を通じて開示を行っていますか。
1	セキュリティポリシー、関連投資、体制、日常的なPDCA活動などに関して、紹介・開示を行っている
2	セキュリティポリシーなど一部の関連情報のみ、紹介や開示をしている
3	開示項目の選定含めて、開示のための作業を行っている
4	開示を検討中である
5	開示の計画はない
40-2	Q40-1で1または2を選択された場合、掲載されている資料名をご記入ください。 記述 例：リスクマネジメントレポート2017
41	<b>レガシーシステムの刷新</b> ※本アンケートでは、技術面の老朽化、システムの肥大化・複雑化、ブラックボックス化等の問題があるシステムと定義します。その結果として、経営・事業戦略上の足かせ、高コスト構造の原因となっていると考えられます。
41-1	企業価値向上のためのIT活用に向け、経営・事業戦略上の足かせとなる「レガシーシステム」の刷新が実現できていますか。
1	経営・事業戦略上の足かせとなるような「レガシーシステム」は存在しない
2	企業価値向上のためのIT活用を目指し、「レガシーシステム」の刷新を実施中または1年以内に実施する計画である
3	企業価値向上のためのIT活用を目指し、「レガシーシステム」の刷新を計画中である（数年以内に実施予定）
4	「レガシーシステム」が問題となっているが、刷新の計画はない
41-2	Q41-1で1または2を選択された場合、レガシーシステム刷新プロジェクト名（あるいは実施予定の計画名）または概要をご記入ください。（※レガシーシステム刷新を実施された場合のみ、刷新が必要ない状態である場合はその旨記載してください。） 記述 例：全社基幹業務システム再構築計画書
41-3	(Q41-1で1または2を選択された場合はご回答ください) その内容をIR資料等で公開していますか
1	その内容をIR資料等ですでに社外に公開している
2	IT関連の報告書等で社内で周知されており、社外への公開も準備中である
3	社内では周知されているが、公開の予定はない

<b>42</b>	<b>企業価値向上のためのIT活用に向けた情報システムの確認・見直し</b>
42-1	企業価値向上のためのIT活用に向け、情報システムが経営・事業戦略上の足かせとならないように、どのような取組みを実施されていますか。
1	計画的にシステムの確認・見直しを実施し、抜本的な刷新などシステムの柔軟性や俊敏性を向上させるための対策を実施している
2	計画的にシステムの確認・見直しを実施し、足かせが生じないように必要な改修（例：最新テクノロジーとの連携、データの連携）を実施している
3	システムの確認・見直しを実施しているが、必ずしも計画的ではなく、問題が発生した場合にその都度、可能な範囲で対応している
4	特に確認・見直しは実施しておらず、必要性が発生したタイミングでその都度、可能な範囲で対応している
42-2 記述	Q42-1で1～3を選択された場合、確認・見直しの報告に関する文書の名称・概要をご記入ください。 例：ITアニュアルレポート
<b>43</b>	<b>全社データの整合性確保のための取組み</b>
43-1	企業価値向上のためのIT活用を実施するにあたって、全社のデータ整合性などが確保されていますか。
1	スムーズに短期間に連携できるよう、全社的にデータ整合性を確保している
2	全社的にデータ整合性を確保するために、その準備や作業を行っている
3	全社的なデータ整合性は必ずしも確保できていない
43-2 記述	Q43-1で1を選択された場合、関連するデータ定義書等の名称をご記入ください。 例：グループマスターデータ規定
<b>44</b>	<b>既存のIT・データと最新デジタル技術との連携</b>
44-1	既存のITおよびデータが、新たに導入する最新デジタル技術とスムーズかつ短期間に連携できるとともに、既存データを活用できるようになっていますか。
1	スムーズかつ短期間に連携できるようなアーキテクチャーとなっている
2	既存のITおよびデータをデジタル技術と連携させるための改造に着手している
3	既存のITおよびデータをデジタル技術と連携させるための改造を計画（3年以内）している
4	改造を実施したいが難しい状態である
5	既存のITおよびデータから独立しているので、連携は必要ない
44-2 記述	Q44-1で1を選択された場合、関連するデータ定義書等の名称をご記入ください。 例：グループデータディクショナリー
<b>45</b>	<b>経営状況のリアルタイムでの見える化</b>
45-1	売上等の経営状況をリアルタイムに把握できていますか。
1	経営層が売上等をリアルタイムに把握できる仕組みがある
2	リアルタイムではないが、経営層が日次の状況を把握できる仕組みがある
3	定期的に状況を把握しているが、日々の状況を把握できる仕組みはない
45-2 記述	Q45-1で1または2を選択された場合、導入している仕組みやシステムの名称をご記入ください。 例：経営ダッシュボード
<b>46</b>	<b>ヒューマンリソースの見える化</b>
46-1	社員の経歴や能力を見える化する各国個人情報保護法に準拠した仕組みがあり、企業価値向上に向けた取組みなど、新たなプロジェクト等の人選や人材配置に役立っていますか。
1	全社的（グローバルを含むグループ全体）として社員の経歴・能力を見える化する仕組みがあり、新たなプロジェクト等の人選・人材配置に役立っている
2	特定部門でのみ社員の経歴・能力を見える化する仕組みがあり、新たなプロジェクト等の人選・人材配置に役立っている
3	そのような仕組みはない
46-2 記述	Q46-1で1または2を選択された場合、導入している仕組みやシステムの名称・実施内容をご記入ください。 例：ヒューマンリソースマネジメントシステム 新たなAIチームの人選に活用
<b>47</b>	<b>モノの動きの見える化</b>
47-1	製品の製造・流通プロセス、サービスに関する状況の見える化ができていますか。
1	全社的に見える化ができています
2	一部の見える化ができています
3	そのような仕組みはない
47-2 記述	Q47-1で1または2を選択された場合、導入している仕組みやシステムの名称・実施内容をご記入ください。 例：●●製品トレーサビリティシステム/スタッフの接客時間の見える化/店舗に来院した顧客動線の見える化

<b>V 企業価値向上のためのIT投資評価および改善のための取組み</b>	
<b>48</b>	<b>IT 投資の事後評価ルール・プロセス</b>
48-1	IT 投資に対する事後評価のルール・プロセスを定め評価していますか。
	1 実施している
	2 実施していない
48-2	Q48-1で1を選択された場合、そのルール・プロセスの名称または概要をご記入ください。 記述 例：稼働評価報告書
48-3	(Q49-1で1または2を選択された場合はご回答ください) その内容をIR資料等で公開していますか
	1 その内容をIR資料等ですでに社外に公開している
	2 IT関連の報告書等で社内で周知されており、社外への公開も準備中である
	3 社内では周知されているが、公開の予定はない
<b>49</b>	<b>実験的なIT投資に関する評価基準</b>
49-1	最新のデジタル技術の活用など、実験的なITのトライアル投資について、他の投資と異なる意思決定プロセスや判断基準がありますか。
	1 意思決定プロセスや判断基準がある
	2 特別なプロセスや基準はない
49-2	Q49-1で1を選択された場合、そのルール・プロセスの名称または概要をご記入ください。 記述 例：「最新デジタル投資枠」を設け柔軟に対応
<b>50</b>	<b>投資効果最大化のための取組み</b>
50-1	投資効果を最大化するために、全社的に活用状況を把握し、PDCA サイクルを定義して改善に向けて取り組んでいますか。
	1 取り組んでいる
	2 取り組んでいない
50-2	Q50-1で1を選択された場合、PDCAプロセスを確認している会議体等の名称をご記入ください。 記述 例：IT投資委員会によるレビュー会議
50-3	(Q50-1で1または2を選択された場合はご回答ください) その内容をIR資料等で公開していますか
	1 その内容をIR資料等ですでに社外に公開している
	2 IT関連の報告書等で社内で周知されており、社外への公開も準備中である
	3 社内では周知されているが、公開の予定はない

攻めのIT経営に関連するQ51およびQ52について、優れた取組みを実施している企業とその取組みを「IT経営注目企業2018」として発表予定です。貴社として特筆すべき取組みについて、所定フォーマットに自由にご記入ください。※ご回答は任意です。

51	<p>企業価値向上のためのIT活用の実施においては、「レガシーシステム（技術面の老朽化、システムの肥大化・複雑化、ブラックボックス化等の問題があるシステム）」の刷新が重要と考えられます。</p> <p>現在、またはこれまで実施されたレガシーシステムの刷新に関する取組みについて、可能な範囲でご紹介ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的</li> <li>・刷新時期、実施範囲、手段等（必須）</li> <li>・実施したあるいは実施を検討している攻めの取組</li> <li>・実施に際して工夫した点・重視した点</li> </ul>
52	<p>「攻めのIT投資」を推進するための下記のような関連する取組みについてご紹介ください（※下記テーマに限りません）。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ IT-IR（ITに関する情報開示）</li> <li>・ ITに関するR&amp;Dの取組み</li> <li>・ ITに関する人材育成</li> <li>・ 攻めのIT経営を推進するための社内啓発活動</li> <li>・ 組織間横断の人材交流制度</li> <li>・ 提案制度や社内ベンチャー</li> <li>・ ダイバーシティ推進</li> <li>・ ITを活用した社会貢献活動</li> <li>・ オープンイノベーションの推進</li> <li>・ 攻めのIT投資を促進するための投資制度</li> </ul>

**参考質問（企業風土・文化に関する質問）**

以下の質問はあくまでも参考としてお伺いするものです。評価には利用しません。

53	<p>自分の所属する部署以外のメンバーと広く情報交換・交流し、部門間の垣根がなくワンチームとして動く風土・マインドがある</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td>1</td><td>まさにあてはまる</td></tr> <tr><td>2</td><td>ややあてはまる</td></tr> <tr><td>3</td><td>あまりあてはまらない</td></tr> <tr><td>4</td><td>全くあてはまらない</td></tr> <tr><td>5</td><td>わからない</td></tr> </table>	1	まさにあてはまる	2	ややあてはまる	3	あまりあてはまらない	4	全くあてはまらない	5	わからない
1	まさにあてはまる										
2	ややあてはまる										
3	あまりあてはまらない										
4	全くあてはまらない										
5	わからない										
54	<p>新たな挑戦をすることを促進する風土・マインドがある</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td>1</td><td>まさにあてはまる</td></tr> <tr><td>2</td><td>ややあてはまる</td></tr> <tr><td>3</td><td>あまりあてはまらない</td></tr> <tr><td>4</td><td>全くあてはまらない</td></tr> <tr><td>5</td><td>わからない</td></tr> </table>	1	まさにあてはまる	2	ややあてはまる	3	あまりあてはまらない	4	全くあてはまらない	5	わからない
1	まさにあてはまる										
2	ややあてはまる										
3	あまりあてはまらない										
4	全くあてはまらない										
5	わからない										
55	<p>経営者を含め、職員は新しい情報技術を積極的に受け入れている</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td>1</td><td>まさにあてはまる</td></tr> <tr><td>2</td><td>ややあてはまる</td></tr> <tr><td>3</td><td>あまりあてはまらない</td></tr> <tr><td>4</td><td>全くあてはまらない</td></tr> <tr><td>5</td><td>わからない</td></tr> </table>	1	まさにあてはまる	2	ややあてはまる	3	あまりあてはまらない	4	全くあてはまらない	5	わからない
1	まさにあてはまる										
2	ややあてはまる										
3	あまりあてはまらない										
4	全くあてはまらない										
5	わからない										
56	<p>経営者や管理者は組織内外のできごとや事実についての情報を積極的に収集している</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td>1</td><td>まさにあてはまる</td></tr> <tr><td>2</td><td>ややあてはまる</td></tr> <tr><td>3</td><td>あまりあてはまらない</td></tr> <tr><td>4</td><td>全くあてはまらない</td></tr> <tr><td>5</td><td>わからない</td></tr> </table>	1	まさにあてはまる	2	ややあてはまる	3	あまりあてはまらない	4	全くあてはまらない	5	わからない
1	まさにあてはまる										
2	ややあてはまる										
3	あまりあてはまらない										
4	全くあてはまらない										
5	わからない										
57	<p>経験や持っている知識に加えて、事実やデータに基づいた行動が行われている</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td>1</td><td>まさにあてはまる</td></tr> <tr><td>2</td><td>ややあてはまる</td></tr> <tr><td>3</td><td>あまりあてはまらない</td></tr> <tr><td>4</td><td>全くあてはまらない</td></tr> <tr><td>5</td><td>わからない</td></tr> </table>	1	まさにあてはまる	2	ややあてはまる	3	あまりあてはまらない	4	全くあてはまらない	5	わからない
1	まさにあてはまる										
2	ややあてはまる										
3	あまりあてはまらない										
4	全くあてはまらない										
5	わからない										

## Q15企業価値向上のためのIT活用1

### Q15 企業価値向上のためのIT投資プロジェクト1

企業価値向上のためのIT投資プロジェクトの内容について、できるだけ詳しくご記入ください。

※必要に応じ、補足資料を別紙で添付してください(既存資料でも構いません)。

※「攻めのIT経営調査2017」にご回答いただいた方で、同じお取組みについて記入される場合は、前年から進展した点についてわかるように記入をお願いいたします。

<b>企業名</b>		<b>ID</b>	
<b>別添資料</b>	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし		
<b>IT投資プロジェクトのタイトルおよび概要</b>			
<b>タイトル</b>			
<b>概要</b> 200-250字程度			

<b>IT活用テーマ(複数でも結構です)</b>
<input type="checkbox"/> 革新的な生産性 <input type="checkbox"/> 既存ビジネスの拡充 <input type="checkbox"/> ビジネス革新 <input type="checkbox"/> その他 具体的に：

<b>対象領域(商品・サービス/顧客等)</b>
<input type="checkbox"/> 既存ビジネスの領域 <input type="checkbox"/> 自社にとって新しい領域 <input type="checkbox"/> 業界のなかで新しい領域 <input type="checkbox"/> 世の中にとって新しい領域

<b>活用している技術</b> ※必ずしも最新のデジタル技術でなくてもかまいません。
<input type="checkbox"/> IoT <input type="checkbox"/> AI <input type="checkbox"/> ビッグデータ <input type="checkbox"/> ロボット <input type="checkbox"/> ブロックチェーン <input type="checkbox"/> その他 具体的に：

<b>プロジェクトの状況(1つ選択してください)</b>
<input type="checkbox"/> 計画中 <input type="checkbox"/> 構築中 <input type="checkbox"/> 運用中 <input type="checkbox"/> その他 具体的に：

<b>背景および目的</b>

<b>プロジェクトの体制</b> (責任者、プロジェクトチーム等、簡単にご紹介ください)

## Q15企業価値向上のためのIT活用1

### IT活用による企業価値向上の取組み詳細

・IT活用で実現したい内容、対象、導入方法、採用しているテクノロジー等

### 上記取組みにより、考えられる効果

- ・ROEやキャッシュフローへの影響
- ・(現状考えられる)将来的な成長への寄与
- ・今後の可能性

## Q17企業価値向上のためのIT活用2

### Q17 企業価値向上のためのIT投資プロジェクト1

企業価値向上のためのIT投資プロジェクトの内容について、できるだけ詳しくご記入ください。

※必要に応じ、補足資料を別紙で添付してください(既存資料でも構いません)。

※「攻めのIT経営調査2017」にご回答いただいた方で、同じお取組みについて記入される場合は、前年から進展した点についてわかるように記入をお願いいたします。

<b>企業名</b>		<b>ID</b>	
<b>別添資料</b>	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし		

IT投資プロジェクトのタイトルおよび概要	
<b>タイトル</b>	
<b>概要</b> 200-250字程度	

IT活用テーマ(複数でも結構です)
<input type="checkbox"/> 革新的な生産性 <input type="checkbox"/> 既存ビジネスの拡充 <input type="checkbox"/> ビジネス革新 <input type="checkbox"/> その他 具体的に：

対象領域(商品・サービス/顧客等)
<input type="checkbox"/> 既存ビジネスの領域 <input type="checkbox"/> 自社にとって新しい領域 <input type="checkbox"/> 業界のなかで新しい領域 <input type="checkbox"/> 世の中にとって新しい領域

活用している技術 ※必ずしも最新のデジタル技術でなくてもかまいません。
<input type="checkbox"/> IoT <input type="checkbox"/> AI <input type="checkbox"/> ビッグデータ <input type="checkbox"/> ロボット <input type="checkbox"/> ブロックチェーン <input type="checkbox"/> その他 具体的に：

プロジェクトの状況(1つ選択してください)
<input type="checkbox"/> 計画中 <input type="checkbox"/> 構築中 <input type="checkbox"/> 運用中 <input type="checkbox"/> その他 具体的に：

背景および目的

プロジェクトの体制 (責任者、プロジェクトチーム等、簡単にご紹介ください)

## Q17企業価値向上のためのIT活用2

### IT活用による企業価値向上の取組み詳細

・IT活用で実現したい内容、対象、導入方法、採用しているテクノロジー等

### 上記取組みにより、考えられる効果

- ・ROEやキャッシュフローへの影響
- ・(現状考えられる)将来的な成長への寄与
- ・今後の可能性

## Q51レガシーシステム刷新

### Q51 攻めのIT経営を目指したレガシーシステム刷新の取組み(※任意)

企業価値向上のためのIT活用の実施においては、「レガシーシステム(技術面の老朽化、システムの肥大化・複雑化、ブラックボックス化等の問題があるシステム)」の刷新が重要と考えられます。

現在、またはこれまで実施されたレガシーシステムの刷新に関する取組みについて、可能な範囲でご紹介ください。

<b>企業名</b>		<b>ID</b>	
<b>別添資料</b>	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし		
<b>内容</b>			
<ul style="list-style-type: none"><li>・目的</li><li>・刷新時期、実施範囲、手段等(必須)</li><li>・実施したあるいは実施を検討している攻めの取組</li><li>・実施に際して工夫した点・重視した点</li></ul>			

## Q52その他推進上の取組み

### Q52 攻めのIT経営推進上の取組み(※任意)

「攻めのIT投資」を推進するための下記のような関連する取組みについてご紹介ください。  
 ※複数の取組みを記載されたい場合はシートをコピーしてご記入ください。  
 ※必要に応じ、補足資料を別紙で添付してください(既存資料でも構いません)。

<b>企業名</b>		<b>ID</b>	
<b>別添資料</b>	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし		
<b>テーマ</b>			
(例) IT-IR (ITに関する情報開示) / ITに関するR&D / ITに関する人材育成・評価・組織間横断の人材交流等 / 攻めのIT経営を推進するための社内啓発活動 / 提案制度や社内ベンチャー推進制度 / ダイバーシティ推進 / ITを活用した社会貢献活動 / オープンイノベーションの推進 / 攻めのIT投資を促進するための投資制度 ※その他特筆すべきテーマ・活動があれば自由にご記入ください。			

<b>その内容</b>